



学校法人永原学園
さんこう
児童クラブ通信

令和4年9月発行
— 第4号 —

【三光幼稚園】

TEL：0952-31-0753

【さんこう児童クラブ携帯】

TEL：090-7430-1312

「活動をふりかえろう♡」

西九州大学、短期大学の先生と学生さん方のおかげで、さんこう児童クラブに通う子ども達は、この夏たくさんの初めての体験をしました。

12回に及ぶ講座には、ミニ夏祭りがあったり、留学生からはミャンマーという国のことを教えてもらいました。子ども達書いた作文からは、各自が感じた“もの、こと、人”の様子が具体的に絵を加えて書いてあり、子ども理解に繋がりました。中でも、最後に「色々なゲームをやらせてくれてありがとう。」「うれしかった」「また、おにいさん、おねえさんと活動がしたいです」というコメントが添えられていたことには、この夏の成長を感じました。皆様の温かい見守りと触れ合いがこども達には伝わっていると感じました。

9月のおたのしみ

- ぶどう製作
- 本の読み聞かせ
- 戸外活動
- 椅子取りゲーム 等

9月の学童児童数

	8月末 在籍数	9月 新規人数	9月初日 人数
1年生	12	0	11
2年生	2	0	2
3年生	0	0	0
計	14	0	13

児童の様子

夏休みが終わり、2学期が始まりました！

さんこう児童クラブ初めての夏休みは学生さんの活動や、調理体験、製作活動などのさまざまな活動があり、楽しく過ごすことができました♪

夏休みに行った活動の中で今回は空気砲製作について紹介したいと思います。夏休み前からゴム鉄砲などを自分で作って楽しむ姿がよく見られていましたが、ある時に、「他の友達に当たっちゃうから危ないよ！」という声が上がりました。そこで、安全に楽しめる方法がないかとみんなで考え、空気砲を製作する事になりました！材料はペットボトルや折り紙、ビニールテープなど廃材や文房具を使います♪折り紙やテープなどで空気砲を自由に飾ることを楽しみながら製作にとりくんでいました(^_^)。できあがると、実際に撃ってみて、中の空気が勢いよく飛び出すことの仕組みに気付きながら楽しむ姿が見られました♪



いろいろな色のテープを使って綺麗にしたいな♪

毛糸で空気砲の弾を作るよ！



鉄砲と弾が繋がっているから友達に当たらないよ！



◇ 9月の目標 ◇「最後まで綺麗に片付ける」

7月は「使った物は最後まで片付ける」と言う目標を立てていました。子どもたちはその後、片付けようとする気持ちがもてるようになってきましたが、つい忘れちゃう姿も(^_^;)

そこで、9月は、7月の目標から少しレベルアップして、次に使う友達が気持ちよく使えるような片付け方を心がけていけるように関わっていきたいと思います。遊んだ後はみんなで協力して綺麗に片付けをして、過ごしやすい環境をみんなで作っていきけるようにしていきます♪

「親子で歌う豊かな時間」

西九州大学短期大学部 幼児保育学科
教授 野口美乃里

子どもが最初に出会う音楽、それはお母さんの歌です。歌といってもそれは「マザリーズ」と呼ばれる、赤ちゃんをあやすときにお母さんが自然に発する、高音域で抑揚のある語りかけから始まります。赤ちゃんはそれに応え声を出しますが、その波形やリズムはお母さんの「マザリーズ」と同じであるといわれています。この時点ですでに音楽的なやり取りが始まっているのです。

実際に子どもが歌(らしきもの)を歌い始めるのは1歳ころからですが、まだ言葉の出ない赤ちゃんの頃から、たくさん歌って聴かせてあげてください。子どもにとってお母さんの歌は耳だけでなく五感と心を通して聴こえるものです。愛情という栄養たっぷりの歌が子どもからだに響くとき、子どもは心から音楽を楽しみ、安心し、満たされます。

子どもが歌えるようになったら、どんどん一緒に歌いましょう。おすすめは「わらべうた」や「童謡」です。「いっぽんぼし こちょこちょ」「げんこつ山のたぬきさん」「あぶくたった」などのわらべうたは、あそびの中で子どもたち自身が創り出し、子どもたちによって伝承されてきたものです。使われている音は2～5音と少なく、言葉のもつ抑揚やリズムに依存しているので、話し始めたばかりの子どもでも、話すことの延長のような感覚で歌い始めることができます。また「童謡」には「ぞうさん」「犬のおまわりさん」「あめふりくまのこ」「おつかいありさん」など、動物や虫やお花などが擬人化され登場します。子どもが親しみを感じながら、楽しい・嬉しい・寂しい・温かい・心にじんときくるなど、子どもの感受性や情緒を育み、想像力を豊かにし、言語の発達に良い影響を与えます。

テレビから流れてくるリズムカルで刺激的な歌も良いのですが、子どもが歌うには難しいものも多く、親子で楽しむ歌は子どもの発達に合ったものであることが望ましいです。

歌うという行為は、一緒に歌う相手と呼吸を合わせるということでもあります。きっと皆さんも、一緒に歌う人とのつながりや一体感を感じた経験がおありでしょう。是非お子さんとたくさん歌ってください。そこには親子の絆を感じられる豊かな時間があります。